

教科名	家庭	週時間数	0.5時間	学年	3年
使用教科書 副教材等	・教科書「New 技術・家庭 家庭分野」暮らしを創造する 教育図書				

教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住などの生活にかかわる基本的な知識及び技術を習得することにより、生活の自立を目指す。</li> <li>・自分の家庭を取り巻く社会や環境に関心を持ち、生活をよりよく豊かに創造する能力と態度を育成する。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は、学習プリントをまとめながら、生活と家庭科との関わりを考える。</li> <li>・実習活動では、準備・作業・後片付けをグループで協力して取り組む。</li> </ul>		
定期テスト	出題方針	授業で学習した内容を中心に出题します。	
	範囲 (予定)	1学期中間	実施しません
		1学期期末	住生活
		2学期中間	実施しません
		2学期期末	住生活,消費生活
	学年末	消費生活,3年間のまとめ	
評価方法	知識・技能	授業の取り組み,実習の取り組み,提出物(内容),定期テスト	
	思考・判断・表現	授業の取り組み,実習の取り組み,提出物(内容),定期テスト	
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取り組み,実習の取り組み,提出物(内容・期日)	
学習方法 (先生からのアドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の日常生活に関心を持ち、課題を解決していくための手立てを考えよう。</li> <li>・学んだことを自分の生活に役立てていこう。</li> <li>・授業や課題には集中して取り組み,実習では安全面に配慮して取り組もう。</li> <li>・ともに学習する仲間への心づかいをしよう。</li> <li>・提出物の期限を守ろう。</li> </ul>		

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	私たちの住生活	・住まいの働きを知ろう	・住まいの基本的な働きを理解する。 ・生活行為と住空間について考える。
	5			
	6		・家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	・家族にはそれぞれ住まい方への思いや願いがあることを理解する。
	7		・平面設計	・家族が気持ちよく住もうための工夫を考える。 ・家族が住みやすい間取りを考えることができる。
2	9	私たちの住生活	・平面設計	・家族が気持ちよく住もうための工夫を考える。 ・家族が住みやすい間取りを考えることができる。
	10		・健康を守る室内環境の整え方を考えよう ・家庭内事故から家族を守ろう	・健康を守る室内環境の整え方を理解する。 ・家庭内事故を防ぐための工夫や対策を考える。
			・災害に備えた安全な住まい方を考えよう	・自然災害への備え・対策を考える。
	11	私たちの消費生活	・買い物を振り返ってみよう ・買い物の法律的な意味を考えよう	・消費者としての自覚を持つ。 ・契約とは何かを理解する。
			・いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう ・消費者トラブルを防ごう	・販売方法と支払方法を理解する。 ・消費者トラブルについて理解し、トラブル対策について考える。
	12		・消費者を支える仕組みを知ろう	・消費者を守る法律や制度を理解する。
3	1	調理の食文化	・調理実習	・旬の食材を使った料理に取り組む。
	2	消費者の権利と責任	・消費者の権利について理解しよう ・消費者の責任について理解しよう	・消費者の権利と責任について理解する。
	3		・消費生活が社会に与える影響を考えよう ・環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	・自分の家族の消費生活が社会に与える影響について理解する。 ・自分や家族にできることを考え、行動できる。